平成３０年度

遠 軽 町 健 全 化 判 断 比 率 及 び
特別会計資金不足比率審査意見書

遠 軽 町 監 査 委 員

平成30年度遠軽町健全化判断比率及び特別会計資金不足比率審査意見書

第１　審査の対象

平成30年度実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率（以下「健全化判断比率」という。）

平成30年度遠軽町個別排水処理事業特別会計の資金不足比率

第２　審査の期間

令和元年8月1日

第３　審査の手続き

平成30年度の審査に当たっては、町長から提出された健全化判断比率、資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類について、正確かつ適正に作成されているか等に主眼をおき、関係書類との照合及びその他必要と認める審査手続きを実施した。

第４　審査の結果

平成30年度の健全化判断比率、資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも法令の規定に従って適正に作成されているものと認められる。

１　健全化判断比率

（単位：％）

区　　分	平成29年度算定比率	平成30年度算定比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	－	－	13.50	20.00
連結実質赤字比率	－	－	18.50	30.00
実質公債費比率	9.1	9.2	25.0	35.0
将来負担比率	9.5	11.9	350.0	

※　実質赤字比率、連結実質赤字比率については、赤字額がないため「－」と表示している。

今回の審査では、健全化判断比率は法令の定める早期健全化基準を下回っており、その限りでは良好な状態にあると認められるが、これら以外の財政分析指標のなかで、一般会計の経常収支比率が上昇しているなど財政運営が厳しくなっている。財源の確保に努めるとともに、事務事業の成果・効果の検証と見直しにより、中長期的視点に立った行財政運営に努められたい。

２　資金不足比率

（単位：％）

会計の名称	平成29年度資金不足比率	平成30年度資金不足比率	経営健全化基準
個別排水処理事業	－	－	20.0

※資金不足比率については、資金不足がないため「－」と表示している。